

日本難燃剤協会の紹介 及び 新しい「グリーンな難燃剤」の概念

日時:平成19年10月31日 14:00—15:30

場所:(社)電子情報技術産業協会303会議室

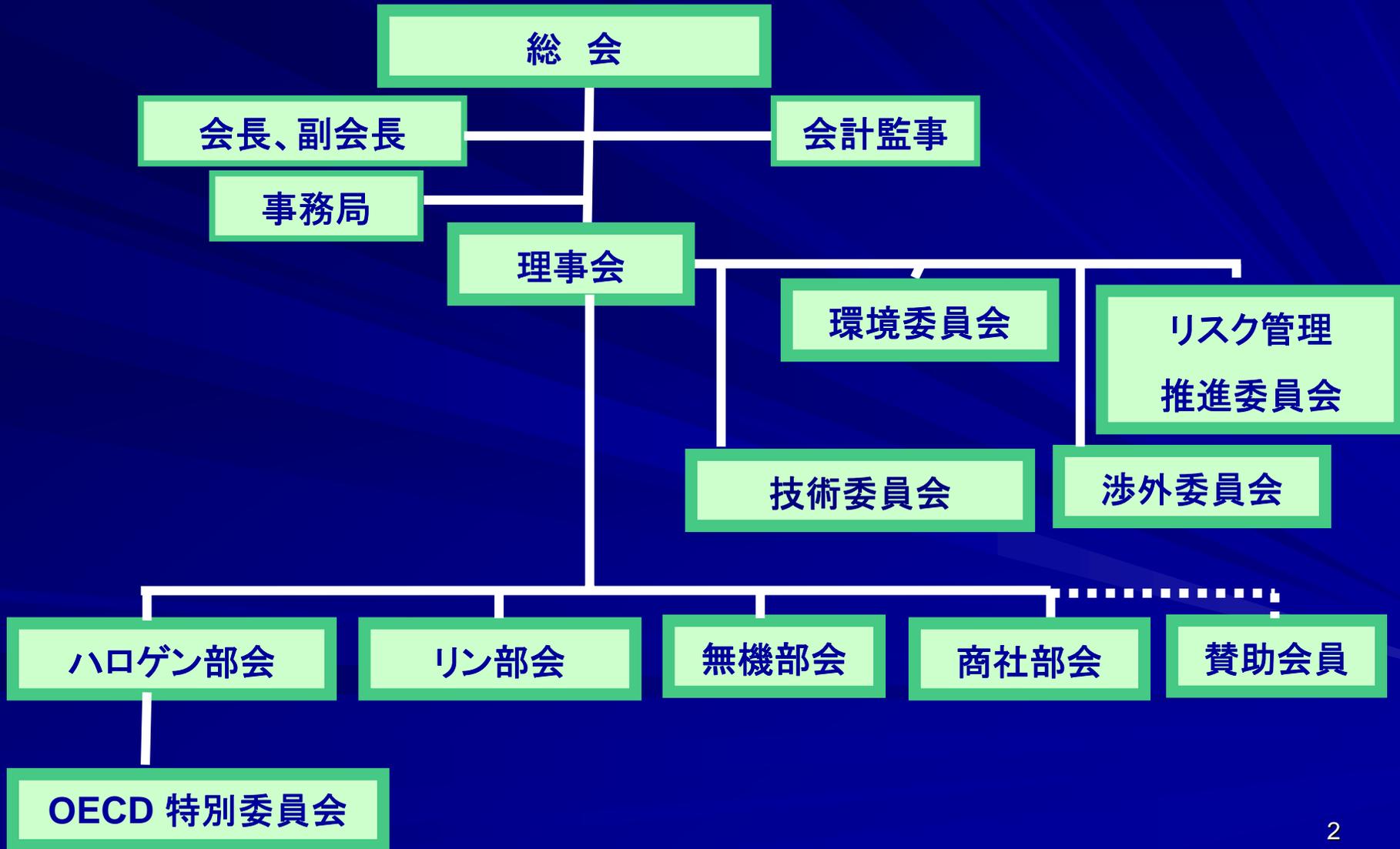
日本難燃剤協会

渉外委員長

松見 茂

平成19年度日本難燃剤協会 (FRCJ)

1. 組織図



2.平成19年度役員名簿



役職	氏名	会社名
会長	山中 宏	大八化学工業(株) 常務取締役
副会長	大塚 稔	丸菱油化工業(株) 取締役 東京支店長
会計監事	柴原 信夫	長瀬産業(株) 化学品第一事業部本部

【理事】

技術委員長	落合 玄一郎	(株)鈴裕化学 技術部次長
環境委員長 兼 OECD対策委員長	上林山 博文	東ソー(株) 環境保安・品質保証部次長
リスク管理・推進委員長	北村 彰秀	マナック(株) 執行役員 難燃剤事業部長
渉外担当理事	松見 茂	ケムチュラ・ジャパン(株) 取締役社長
ハロゲン部会長	浅田 英司	坂本薬品工業(株) 東京副支店長
リン部会	宮野 信孝	大八化学工業(株) 企画開発部
無機部会長	益森 芳幸	日本精鋳(株) 営業部次長
商社部会長	岩田 寧	三洋貿易(株) 東京化学品二部

【他】

事務局長	安井 敏之	TEL: 03-3517-2232, FAX: 03-3517-2560 E-mail : t-yasui@frcj.jp URL : http://www.frcj.jp
------	-------	--

日本難燃剤協会

事業目的: 難燃剤業界の健全な発展を図る。

事業内容:

1. 国内、国外の難燃規制に関する調査及び情報の収集
2. 難燃剤の安全性に関する調査及び情報の収集
3. 難燃剤の健全な普及、啓蒙
4. 官公庁の並びに関連団体との連絡及び協力
5. その他本会の目的を達成する為に必要な活動

環境・安全問題として特に以下の活動がある。

- OECDとの臭素系難燃剤に関するVIC (Voluntary Industry Commitment)活動の推進
- 環境・安全性の問題、動向に関する啓蒙活動

新しい「グリーンな難燃剤」の概念

背景:

- E&E業界での環境問題とDBDPOの懸念
- ハロゲン系難燃剤排除の圧力と誤った「グリーン」の概念
- ノンハロ系難燃剤の代表、リン系難燃剤への毒性・環境負荷の懸念
- E&E, IT市場でのリン系難燃剤問題の表面化
- 自動車業界の難燃プラスチック選択の懸念

ハロゲン系難燃剤

Deca-BDE

- 欧州RoHS指令に従いPBB, Penta-BDE, Octa-BDEの使用中止。
- RoHS指令の不純物規制の為Deca-BDEの使用量の減少。

TBBA

- 反応型用途に関しては問題は無い。一方、添加型用途に懸念があるが、TBBA誘導品で置き換えが進む。

HBCD

- 化審法「第一種監視化学物質」に指定される。
- 自主リスク管理計画(VECAP)活動の開始。

リン系難燃剤

1) 赤リン

- 燃焼時の毒性「フォスフィン」ガス発生の懸念はあるが、実際は室温で毒性の無い酸化塩に変化する。
- 表面処理されたタイプが電線業界で使用されている。

2) リン酸エステル

- 縮合リン酸エステルタイプ(BDP, RDP, etc)が広くE&E/IT製品にノンハロ系難燃剤として使用されている。
- 「有機リン化合物」として有機リン系殺虫剤や神経ガスと関連して、マスメディアで誤って報道されている。

三酸化アンチモン

- 粉末状のタイプが独国MAKリストの「発ガン性の疑い」の分類に入っている為懸念があるが、マスターバッチ化することで解決可能。

新しい「グリーンな難燃剤」の概念

- 科学的データに基づく(分解性、生体内蓄積性、毒性で安全を確認)
- 法令に適合する(現行規制法令、REACHに準拠)
- 環境に優しいイメージ(要件:高分子、低エネルギー消費型、低揮発性、リサイクル性、安全性データ蓄積、終末処理、その他)

FRCJとしての考え方

- FRCJは難燃剤の啓蒙活動の為に関連情報を広く公開する。
- FRCJは難燃化学物質の安全性や環境問題に関心を持つ団体とコミュニケーションをとる。
- FRCJはREACH導入を支持し、E&E/IT及び自動車メーカーの国際化へ対応する。
- FRCJは新しい「グリーンな難燃剤」の概念を啓蒙・推進する。

ご清聴有難うございました。

日本難燃剤協会ホームページ

<http://www.frcj.jp>